

事業シート4

課コード: 001502000
 担当組織: 環境政策課

作成日: 平成24年4月1日
 責任者: 岡田真人

基本政策	課	政策	目	事業
計画コード 07	01	0161	01	016104

款	項	目	事項
予算コード 16	21	01	25

款	項	目	事項
16	21	01	

事業名: 環境教育・環境学習推進事業

事業費 (予算) (単位:千円)	23年度	24年度	比較	人工 (正規職員) (単位:人)	23年度	24年度	比較
	2,502	2,974	472		1.3	1.3	0.0
24年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他
	1,247	740					987

事業の目的

持続可能な社会を実現するために、市民、事業者、行政が『広く環境に関心を持ち、環境に対する理解を深めて、自ら行動する人づくり』を目指した総合的・体系的な環境教育・環境学習を推進する。

事業内容(平成24年度に何をやるか)

- 小学校での環境教育の支援
 - ・環境学習指導員や市職員による移動環境教室の開催
 - ・環境教育活動に係る人材育成と活用
 - ・環境学習指導員の登録・派遣制度の活用
 - ・環境学習指導員レベルアップ講座の開催
 - ・環境学習教材の提供
 - ・浜松版環境学習プログラムの作成・実践
 - ・環境学習サポートガイドブックの作成
- 協働
 - ・(仮称)浜松市環境教育推進ネットワークの立ち上げ
 - ・家庭や地域での環境学習活動の支援
 - ・こどもエコクラブ((財)日本環境協会が主管)の地方事務局
 - ・てんはまエコミュージアムの推進
 - ・てんはまエコミュージアムホームページによる、自然・歴史・文化などの地域資源の情報発信
 - ・地域資源を学んで巡るエコツアーの開催

これまでの取組状況(平成23年度に何をを行い、その結果はどうだったか)

- 浜松市環境教育推進プランを作成した。
 - ・平成23年6月22日 第1回環境審議会で策定報告及び概要案について審議、意見聴取
 - ・平成23年10月20日 第2回庁内検討会の開催 案を報告
 - ・平成23年11月8日 第2回環境審議会で案を報告
 - ・平成23年12月19日～平成24年1月19日 パブリック・コメント実施
 - ・平成24年2月8日 第3回庁内検討会の開催 パブコメ結果と修正案を報告
 - ・平成24年2月20日 第3回環境審議会でパブコメ結果と修正案を報告
 - ・平成24年3月19日 公表
- 小学校での環境教育の支援を行った。
 - ・移動環境教室の開催 実施校48校 授業回数306回 受講者数 7,559人
 - ・環境副読本の作成・配付(市内全5年生他8,400部)
 - ・環境教育活動に係る人材育成と活用を図った。
 - ・環境学習指導員の登録・派遣 登録者132人 派遣人数(延べ)290人(移動環境教室263人、特別支援学校、公民館等27人)
 - ・環境学習指導員レベルアップ講座の開催 平成24年3月4日「春の自然と身近な野草を知ろう」 場所:エヌエルファーム 参加者11人
 - ・家庭や地域での環境学習活動の支援を行った。
 - ・こどもエコクラブ地方事務局 21団体 会員450人
 - ・てんはまエコミュージアムホームページの運営
- 新エネルギーに関する地域資源8件と、散策マップ2種類を追加した。アクセス数は3,896件だった。
 - ・エコツアーの開催
 - ・平成23年6月25日「生き物見つけ! 都田川と田んぼ」参加者22人
 - ・平成23年11月20日「天竜・春野の紅葉 祈りの道を巡る」参加者20人

開始年度	終了予定年度	事業の性格分類	根拠法令等					
平成 10 年	年	自治事務						
会計区分	戦略性	マニフェスト	事業の特徴	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働
一般会計	重点戦略	66						
行革審答申	外部評価	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
	* H20は事業仕分け							

(単位:千円)		H22	H23	H24	H25計画	H26計画	H23～26計
事業費	予算	1,851	2,502	2,974	2,974	2,974	11,424
	決算	1,681	2,438				2,438
財源内訳	国・県支出金						0
	市債						0
	その他						0
	一般財源	1,681	2,438	2,974	2,974	2,974	11,360
	*一般会計繰入						0
人件費(報酬等)		0	0	0	0	0	0
人件費		7,800	12,920	12,920	12,920	12,920	51,680
内訳	人工(正規)	0.8	1.3	1.3	1.3	1.3	
	人工(非常勤)	0.5	0.9	0.9	0.9	0.9	
	人工(再任用)						
年間経費(事業費+人件費)		9,481	15,358	15,894	15,894	15,894	63,040

成果指標1 環境教室の開催回数		単位	H22	H23	H24	H25	H26
種類	アウトプット(活動指標)						
	目標	回	240	245	270	275	280
	実績	回	234	326			

成果指標2 環境学習指導員の環境教室への派遣人数(延べ)		単位	H22	H23	H24	H25	H26
種類	アウトプット(活動指標)						
	目標	人	220	230	300	305	310
	実績	人	220	290			

事業の成果(平成23年度末での目的の実現状況 活動ではなく状態)

浜松市環境教育推進プランを策定した。
 ・推進プランとその概要版を、市ホームページで公表すると共に、概要版を市内小・中・高校・大学、公民館、市民団体等へ配付した。
 環境学習指導員の登録者数は、新たに浜松市地球温暖化防止活動推進員が登録したため、昨年度の121人から11人増加して、132人となった。
 環境学習指導員の派遣人数は、移動環境教室への派遣を中心に、昨年度の220人から290人に増加した。

評価(平成23年度事業の評価)

(1) 必要性: 継続

(廃止した場合に考えられる影響)

地球温暖化の進行、ごみ問題など環境問題の解決に向けて、市民等の意識改革と行動変革をもたらす環境教育の重要性が増す中、平成23年度に策定した浜松市環境教育推進プランに基づき、市民、市民団体、事業者、市などすべての主体が協働して浜松市の環境教育施策を総合的・体系的に推進していく必要があるため廃止できない。

(2) 責任主体: 市

(市が実施しない場合に考えられる影響)

環境教育に携わる民間団体はいくつか存在するが、市は、環境教育に関する事業を自らの施策として実行していくとともに、環境教育を推進するための仕組みを整え、市民や市民団体、事業者との連携を強化していく中心的役割を担っている。このため、今後も市が実施する必要がある。

(3) 拡大・縮小: 現状

(理由)

環境教育の充実を求める市民ニーズは非常に高く、今後も積極的に取り組んでいく。

(4) 改善: 協働

(理由)

実施主体の変更(協働):環境教室の開催において、コスト削減と市民サービスの向上を図るため、環境学習指導員や企業やNPOなどとの協働の範囲をさらに拡大する。

今後の方向性 改善

・平成23年度に策定した環境教育推進プランに基づき、人づくり、機会づくり、場づくり、情報共有、協働の取組みを進める施策を展開していく。

改革・改善(評価を反映して何を見直したか)

(1) これまでに実施した改革・改善(平成24年度予算で反映したものを含む)

- ・移動環境教室については、例年、前年度末に開催募集を実施していたが、これを見直し、7月にも第2回目の追加募集を行い、2学期以降への要望にも応えることとした。
- ・環境学習指導員については、年4回のニュースレターを発行して、指導員間の情報共有を図った。また指導員の活用を進めるために、指導員の資格や所属団体、活動状況等の指導員情報についてもホームページで公開することとした。
- ・平成24年度に立ち上げる「(仮称)環境教育推進ネットワーク」の活動として、市内小学5年生に配付していた環境副読本の見直しを行い、平成24年度に作成する「浜松版環境学習プログラム」や市内の学習拠点・フィールド等環境学習に関する地域情報を掲載した「環境学習サポートガイドブック」を新たに作成し、各学校等に配付する他、ホームページで公開していく。
- ・てんはまエコミュージアムの推進については、新エネルギーに関する地域資源の発掘と新たな散策マップ2種類の作成を行った。また、エコツアーは、NPO法人との協働により、希少種等の自然観察を実施して、生物多様性保全について啓発を進めた。

(2) 今後の改革・改善計画(いつまでに何をどう見直す)

- 学校や家庭・地域での環境学習活動の支援等
- ・環境教育を推進して、環境教育・環境学習などの取組みについての市政満足度を、平成26年度に25%を目指す。
- ・市内小学5年生に配付していた環境副読本を見直し、平成24年度に開発する浜松版環境学習プログラムや市内の学習拠点やフィールド等環境学習に関する地域情報を掲載したものとし、各学校等に配付する他、ホームページで公開していく。
- 環境教育活動に係る人材育成と活用
- ・移動環境教室や地域での環境講座への環境学習指導員の講師派遣を進めて、指導員の派遣回数を、平成26年度に280回を目標とする。
- 浜松市環境教育推進プランの進捗管理
- ・平成23年度に策定した浜松市環境教育推進プランについて、重点プロジェクト(市各担当課の取り組みの中で重点的なもの)における各種事業の進捗管理指標により実施状況を把握し、評価・改善を図っていく。
- 地域の自然環境情報の整備・発信(てんはまエコミュージアムの推進)
- ・地域資源の発掘やエコツアーの開催を通じて、地域資源を保全・活用する市民団体等との協働を推進し、市民意識の醸成を図っていく(～平成26年度)。平成26年度以降は、市民・市民団体による主体的な活動との協働・連携事業として実施する。

移動環境教室（小学校対象）におけるプログラム

分野	講座名	内容	対象	
自然	季節を感じよう(春夏秋冬) (1～2時間)	校庭や公園の環境に合わせて、読み聞かせやゲームを交え、五感を使って季節の自然を感じる体験学習 草花 ワッペン作り、茎や葉や実を使った遊び 樹木 樹木を観察したり、葉っぱを手がかりに木を探したりします。 虫 身近な虫の説明を聞いたり観察したりします。	1～3年	
	自然を 知 ろ う	ネイチャーゲーム	100種類以上のプログラムの中から、学校の環境や子どもの学年・実態に合ったものを行います。 五感を使って校庭の自然や身近な生き物に気づき、友達と感じたことを分かち合います。 フィールドビンゴ、サウンドマップ、目隠し歩き、フィールドパターン、私の木 生き物の特徴やつながりを学びます。 ネイチャーLOOP、食物連鎖、動物質問箱	1～6年
		ネイチャークラフト	自然の素材を利用して工作をします。 (材料費が必要な場合があります。)	
	(1～2時間)	身近な植物観察	校庭や学校の周辺で見られる植物を観察します。	3～6年
		身近な樹木観察	学校の森や公園で、樹木や森林の役割について説明を聞いたり観察したりします。	
		川の生き物調査	水生生物を採集し、すんでいる生物の種類をもとにして川や池の構造、水質と生き物の関係を考えます。	4～6年
	野生生物 について 知 ろ う	身近な生き物 (入門編)	校内や登下校中に見られる生き物たちの不思議と生きるための知恵、安全なふれあい方を学びます。	1～6年
		プロジェクトワイルド (体験編)	野生生物のくらしや人間と生物とのかかわりについて、ゲームを通し模擬体験しながら自然や環境のために何をしたらよいかを考えます。	
		(1～2時間)	野鳥観察 (観察編)	佐鳴湖公園など野外で野鳥の観察をします。

分野	講座名	内容	対象
消費生活	環境にやさしいお買い物	買い物ゲームを通して、環境にやさしい視点から商品の選び方を学びます。	4～6年
ごみ	ごみと環境	家庭から出るごみの実物を用いた分別ゲームを通して、ごみの分別や資源について学びます。	4～6年
	ごみを減らそう	家庭から出るごみがどれだけあるか、いかに減らすか、リサイクルしたらどうなるかなど、3Rについて考えます。	4～6年
水	きれいな川に	家庭から出る排水中の汚れの量(COD)を測定することを通して、河川汚濁の主な原因に気づき、水質浄化のためにできることを考えます。	4～6年
大気	暖まる地球	二酸化炭素を使った温度上昇測定実験から、地球温暖化の原因を探り、私たちにできる地球温暖化防止策について考えます。	5～6年
省エネ	環境とエネルギー	太陽光発電・風力発電など再生可能エネルギーと一人一人ができる節電など省エネについて学びます。	5～6年
リサイクル工作 (2時間必要)		消費生活やリサイクルについて学びます。使用済み牛乳パックを材料にした工作を通して、ごみをリサイクルする方法について考えます。	3～6年
展示見学		環境問題についてのパネルやリサイクル過程品・リサイクル品を展示します。要望に応じて説明をします。	1～6年

～ はまかん通信 vol 1 ～

平成23年5月13日

編集・発行 浜松市環境部環境企画課 担当：市川、影山
 〒432-8550 浜松市鴨江二丁目11-2
 TEL：053-453-6149 FAX：053-450-7013
 E-mail kankyou@city.hamamatsu.shizuoka.jp

東日本で起きた大地震のために、被災地では、住む場所を追われたり避難所での生活を余儀なくされたりしている方々がたくさんいて心が痛みます。放射能による汚染という目に見えない危機が続いていることも、我々の不安を掻き立てます。人的にも、物的にも、一日も早く平穏な生活がもたらされるよう願うばかりです。

さて、平成23年度がスタートしました。環境学習指導員の皆様には、事業所、地域、所属団体など様々な場でご活躍のことと思います。4月は、10日(日)の森林公園における子どもたち(ボーイスカウト)の野鳥観察で始まりしました。移動環境教室は、4月18日(月)金指小での自然観察が最初となり、その後は、希望のあった学校での授業が計画通りに行われています。1学期(7月まで)には、19の学校と4つの団体から、派遣の依頼があります。平成22年度の同時期における実績は、17小学校と4団体だったことと比べると、ほぼ同じ程度です。

学校が希望する期間は、校内行事などの関係から特定の月に集中する傾向があります。そのために、新たに講師として指導をしていただける方を増やし、たくさんの方に活動していただきたいと考えています。

6月の移動環境教室の実施校と内容をお知らせします。授業の進め方などをつかむ機会として、見学をご希望の方は、環境企画課までご連絡ください。

6月の移動環境教室 授業日が入れ替わることがありますので、必ずご連絡ください。

期 日	学 校	内 容 (指) = 環境学習指導員が行う、(職) = 職員が行う
2日	豊西小	水生生物調査(指)、水質調査(指)(職)
6日	都田南小	ごみとリサイクル(指)、二酸化炭素で地球が暖まる(職)
7日	都田南小	空気の汚れ(職)
7日	伊目小	川を汚したのはだれ(職)
8日	伎倍小	環境にやさしいお買い物(指)
9日	村櫛小	川を汚したのはだれ(職)、二酸化炭素で地球があたたまる(職)、ごみとリサイクル(指)、
10日	村櫛小	空気の汚れ(職)、
10日	南庄内小	空気の汚れ(職)、川を汚したのはだれ(職)、リサイクル工作(指)
14日	佐久間小	リサイクル工作(指)
15日	佐久間小	リサイクル工作(指)、ごみとリサイクル(指)、環境にやさしいお買い物(指)
15日	伎倍小	ごみとリサイクル(指)
16日	佐久間小	二酸化炭素で地球が暖まる(職)
21日	東小	ごみとリサイクル(指)
22日	東小	二酸化炭素で地球が暖まる(職)
23日	東小	環境にやさしいお買い物(指)
28日	下阿多古小	川を汚したのはだれ(職)

～ はまかん通信 ～

平成23年9月27日

編集・発行 浜松市環境部環境政策課 担当：市川

〒432-8550 浜松市鴨江二丁目11-2

TEL:053-453-6149 FAX:053-450-7013

E-mail kankyou@city.hamamatsu.shizuoka.jp

暑さ寒さも彼岸まで、言葉どおりに過ごしやすい季節になりました。日ごろから、環境学習指導員の皆様には、環境行政にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

1学期の移動環境教室の状況について

1学期に訪問した小学校は、20校ありました。環境学習指導員が授業を行った学級数は、延64学級（指導時間 延75時間、参加児童数 延1600人）でした。

講座ごとの内訳は、下の表のようです。

テーマ	学級数	延時間数
ごみとリサイクル	12	13
環境にやさしいお買い物	9	8 (1合同)
ごみと環境	4	4
リサイクル工作	4	8

テーマ	学級数	延時間数
季節を感じよう	20	30
野生生物について知ろう	6	7
水生生物調査	9	9

移動環境教室で、環境政策課職員が担当したものは、延47学級（指導時間 延48時間、参加児童数 延1200人）でした。講座は以下のとおりです。

テーマ	学級数	延時間数
川を汚したのはだれ	17	17
空気の汚れ	13	13

テーマ	学級数	延時間数
二酸化炭素で地球が暖まる	7	7
その他	10	11

移動環境教室以外では、公民館や森林公園などで実践エコライフ等6講座あり、150人の方が参加されました。

今夏の電力不足に対応できるように紹介した、節電・省エネ講座は、思ったほどの需要がありませんでした。おそらく、テレビや雑誌などで盛んに取り上げられ、市民の皆様には多くの情報が行き渡ったこともあると思われます。

今年の冬も節電・省エネが求められる状況にあると思われます。どんなエコライフができるのか、具体的な提案をする講座ができるといいと思います。

2学期の移動環境教室の状況について

上島小	浅間小	城北小	富塚小	船越小	飯田小	砂丘小
河輪小	蒲小	和田小	北庄内小	西都台小	南庄内小	雄踏小
和地小	井伊谷小	葵西小	気賀小	西気賀小	三方原小	庵玉小
北浜東小	中瀬小	犬居小	二俣小	25校		

希望の多い講座は、次のようになっています。

講座名	学級数
季節を感じよう	48
二酸化炭素で地球が暖まる	24
川を汚したのは、だれ	21
リサイクル工作	10

講座名	学級数
空気の汚れ	8
野生生物について知ろう	5
ごみとリサイクル	5
その他	14

<お知らせ>

現在、(仮称)浜松市環境教育基本方針を策定中です。これまでの環境教育の取り組みを振り返って課題を見つけ、今後、環境教育をいっそう進めていくにはどうしたらいいかを検討しています。

その中で、学校側から利用しやすい制度として高評価を得ている「移動環境教室」をさらに充実させるため、現在実施している学習プログラム(授業メニュー)を見直して、より児童の発達段階や教科学習に対応したプログラムを作っていきたいと考えています。このため、是非、環境学習指導員の皆様に「こんな学習プログラムを実施したらいいのではないか」「こんな授業ができる」などご意見やご提案をいただきたいと思ひます。別紙で、現在実施している移動環境教室の講座例を添えます。

また、今年度開催を予定しているレベルアップ講座についての意見も募ります。別紙をファックス、メール等で環境政策課までお送りください。

締め切りは、10月7日(金)です。

<これまでの授業の例>

テーマ	タイトル	内 容	対象
自然	季節を感じよう！ (1～2時限)	植物・樹木観察 ネイチャーゲーム(フィールドビンゴ)	1年生 から
	野生生物について知ろう！ (1～2時限)	*プロジェクトワイルド オーディア！ 死のつながり	4年生 から
水	川を汚したのはだれ？	生活排水のCODパックテスト実験	4年生 から
大気	空気の汚れ	排気ガス(窒素酸化物やすす)の測定実験	4年生 から
	二酸化炭素で地球が暖まる？	二酸化炭素を使った温度上昇測定実験	5年生 から
ごみ	ごみとリサイクル	ごみの減量化、リサイクルなどを考える。	4年生 から
	ごみと環境	ごみの実物を用いたごみ分別ゲーム	4年生 から
消費生活	環境にやさしいお買い物	環境にやさしい視点から商品を選ぶ買い物ゲーム	4年生 から
リサイクル	リサイクル工作 (2時限必要)	牛乳パックを材料にしたはがき、筆立て、ティッシュ入れ作り	3年生 から
展示見学	展示と説明	パネルやリサイクル過程品の展示とその説明	1年生 から

～ はまかん通信 ～

平成23年12月27日

編集・発行 浜松市環境部環境政策課 担当：市川

〒432-8550 浜松市中区鴨江二丁目11-2

TEL:053-453-6149 FAX:053-450-7013

E-mail kankyou@city.hamamatsu.shizuoka.jp

今年は、震災をきっかけに、節電をはじめとして私たちの生活の仕方を振り返る機会が多かった。また、間近に迫っている東海・東南海地震への備えも怠ってはならないと再認識しました。

さて、2学期の移動環境教室は、25校で開催し、延4400人の子どもたちと一緒に学習しました。8月以降の節電講座や一般からの派遣要請は合計10件でした。

1・2学期累計 移動環境教室 45校 延7200人の子どもたちが受講

節電講座・一般からの派遣要請件数 16件 240人の方が受講

それぞれ、講師として出向いていただいた指導員の皆様、ありがとうございました。

<移動環境教室に関する意見交換会>

今年度、(仮称)浜松市環境教育推進プランを策定することを期に、より多くの学校に受け入れられる移動環境教室を目指して、移動環境教室の実施プログラムについて見直しをしています。

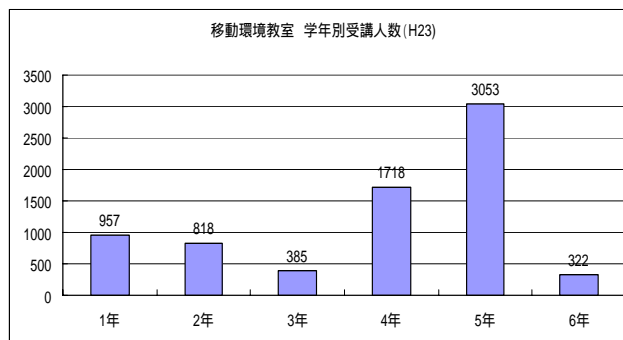
12月13日(火)には、移動環境教室で講師を務めていただいた環境学習指導員10人の参加をいただき、移動環境教室に関する意見交換会を開きました。この会では、現在のプログラムの見直しを検討していただき、貴重なご意見をいただきました。

右のグラフは、本年度4月から12月までに移動環境教室を体験した学年別の子ども数です。学年によって体験者数に大きな差ができています。

4年生・5年生に受講者が多いのは、社会科(4年)や総合的な学習の時間(5年)で学習する内容と、移動環境教室で用意されているプログラムの内容が比較的近いものであるのがその理由です。

また、「自然」に関するプログラムは、低学年の生活科の学習として受け入れられています。

今後は、1年生から3年生(特に3年生)への派遣を増やすために学習の内容に合ったプログラムを提供したいと考えています。また、「生活環境」に関するプログラムに関しては、ごみの収集方法が変わること、雑紙の収集について啓発していくことなど、消費生活やリサイクル、ごみ問題についてより発展的に対応していきたいと考えています。



<(仮称)浜松市環境教育推進プラン(案)のパブリックコメント募集中>

浜松市では、「持続可能な社会」を実現するための人づくりを目指して、市民・市民団体・事業者・市が共通の認識を持ち、環境教育の一層の充実を図るために「(仮称)浜松市環境教育推進プラン(案)」を策定中です。現在、浜松市パブリック・コメント制度に基づき、意見を募集しています。期間や手続き等は、下のとおりです。

皆様のご意見をお寄せいただき、よりよいプランになりますようご協力ください。

期 間 平成23年12月19日 から 平成24年1月19日 まで
公表先 環境政策課、市政情報室、区役所、地域自治センター、公民館、
市民協働センター、中央図書館、浜松市ホームページ
提出方法 環境政策課へ 郵送、ファックス、電子メールで送付、又は直接持参

<新世紀消費者かるた>

たんぼぼの会から、同会が作成した「新世紀消費者かるた」を環境政策課に寄贈していただきました。作成の趣旨について、次のようにあります。

「便利、快適の生活環境の中で、ますます本物の人間社会や自然が見えにくくなってきました。モノがいっぱいあふれているようでも、生活を維持していくための食料や必需品、その大部分を海外に依存しているのが現状です。現在の生活は本当に豊かなのでしょうか。また、あふれるほどの商品は、本当に私たち生活者の立場に立って作られ、販売されているのでしょうか。・・・私たちにできることはいっぱいあると思います。あなたも一緒にその一歩を踏み出しましょう。」

かるたは、読み札とA4版46枚の絵札、解説書からできています。絵札は、カラー印刷でラミネートされています。何かの折にお使いいただけるようでしたら、貸出しをいたしますので、環境政策課までご連絡ください。(一部を紹介)

かん	簡単に	書くな名前	押すな印鑑
き	きれいな川	とりもどす努力	生活排水から
よ	よく考えて	取り消しできる	クーリングオフ
う	うますぎる	もうけ話に	落とし穴
せ	洗剤で	環境汚す	きれい好き
い	いりません	過剰包装	ゴミのもと
さ	再生品	まずは分別	第一歩
く	くりかえし	聞かされ信じる	コマーシャル
か	簡単に	書くな名前	押すな印鑑

<浜松市環境学習指導員レベルアップ講座について>

浜松市環境学習指導員レベルアップ講座は、環境学習指導員のスキルアップと指導員相互の情報交換・交流を目的に開いています。本年度は、野外での活動を考え、下のような内容で実施を検討中です。詳細は、後日改めてご案内いたします。

日 時：平成24年3月4日(日) 10:00~14:00

会 場：エヌエルファーム(湖西市新居町中之郷3727-1)

講 師：高橋正彦さん(野草料理研究家、浜松大学非常勤講師)

内 容：エヌエルファームを見学し、自然に関するお話などを伺います。(敷地が2万坪あるそうです。)

野草料理研究家の高橋さんからは、季節の野菜・野草料理を紹介していただき、調理したものを昼食時にいただきます。(おにぎりなど主食は持ち込み)

～ はまかん通信 ～

平成24年3月13日

編集・発行 浜松市環境部環境政策課 担当：市川

〒432-8550 浜松市中区鴨江二丁目11-2

TEL:053-453-6149 FAX:053-450-7013

E-mail kankyou@city.hamamatsu.shizuoka.jp

< 環境学習指導員レベルアップ講座報告 >

『春の野草と外来種探し』 平成24年3月4日 エヌエルファームにて



< 講話 >

春の野草の在来種と外来種の違いについて
ずいぶんたくさん外来種が私たちの周りにあって
驚きました。

< 講師 >

ゲーテ・高橋さん(昔の生活を体験する会選任
講師)

育つとやっかいなセイタカアワダチソウも、
芽吹き時期に見分けて除草すれば、繁
茂が防げます。天ぷらにすると、おいしい。
(エヌエルファームの園内には、伐採した樹
木等を積み上げて、カブトムシやクワガタの
幼虫を育てていました。地下水を利用して
ピオトープも設置)



採ってきた野草は下処理(汚れをしごき落とし
たり、根を取ったりなど)の作業が大事です。

フキノトウをはじめ地味豊かな野草を囲んで、
指導員同士なごやかに情報交換することがで
きました。



<春の野草の調理法>

ゲーテ・高橋さんのご指導で、調理した野草は以下の通りです。

- ・てんぷら（セイタカアワダチソウ・フキノトウ） ・かき揚げ（ノビル）
- ・きんぴら（タンポポ・アシタバ） ・みそいため（セイヨウカラシナ）
- ・なめし（ナズナ・ヨメナ）
- ・ごまあえ（クレソン・ハコベ・ナバナ） ・みそあえ（リュウキンカ）
- ・ごまみそあえ（ヒメジオン） ・からしみそあえ（タネツケバナ）

興味ある方は、ゲーテ高橋著「食卓の山野草」春夏秋冬叢書 をご覧ください。

<移動環境教室について>

昨年12月に、移動環境教室の講師として小学校での授業をしていただいている方において、移動環境教室についての意見交換会を開きました。

意見交換会でいただいたご意見を参考に、講座の内容を見直しました。

自然分野の学習では、依頼者（学校）の意図を的確につかむために、内容を細分化して示すこととしました。エコライフ分野では、新しい課題である節電・省エネ・新エネルギーなどについて考える講座を増やしました。一方で、学校からの希望が少なくなった講座を削除しました。別紙 移動環境教室の授業の例をご覧ください。

平成24年度の移動環境教室の申し込み数は、2月末現在、19校です。

- 1学期開催 5月 平山小 奥山小 下阿多古小
 6月 村櫛小、相生小 伊目小 中川小 豊西小 広沢小
 7月 東小 竜禅寺小
 2学期開催 9月 葵西小 与進北小
 10月 西気賀小 花川小 船越小
 11月 気賀小 北浜東小
 12月 鴨江小

講座別状況

講座名		学級数	講座名		学級数
ごみ	ごみと環境	7学級	水	きれいな川に	17学級
	ごみを減らそう	5学級	大気	暖まる地球	14学級
消費	環境にやさしいお買物	9学級	省エネ	環境とエネルギー	12学級
リサイクル工作		10学級	その他		4学級
自然	季節を感じよう	34学級			
	自然を知ろう	22学級			

4月になって学校内での体制が固まれば、新たな申し込みがあるものと思われます。予算の制約からコマ数の制限などありますが、多くの学校から申し込みがあることを願っています。